



2024年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期第2四半期の連結業績（2023年7月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年6月期第2四半期 | 11,382 | 1.9 | 2,393 | 10.8 | 2,440 | 12.1 | 1,563 | 12.1 |
| 2023年6月期第2四半期 | 11,166 | 7.8 | 2,160 | △0.3 | 2,176 | 1.4 | 1,394 | △0.2 |

(注) 包括利益 2024年6月期第2四半期 1,537百万円 (15.8%) 2023年6月期第2四半期 1,327百万円 (△6.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年6月期第2四半期 | 39.46 | — |
| 2023年6月期第2四半期 | 35.19 | — |

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年6月期第2四半期 | 29,642 | 21,985 | 74.2 |
| 2023年6月期 | 28,464 | 20,923 | 73.5 |

(参考) 自己資本 2024年6月期第2四半期 21,985百万円 2023年6月期 20,923百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年6月期 | — | 0.00 | — | 12.00 | 12.00 |
| 2024年6月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年6月期（予想） | — | — | — | 13.00 | 13.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2024年2月13日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年6月期の連結業績予想（2023年7月1日～2024年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 22,980 | 4.2 | 4,380 | 3.1 | 4,380 | 7.0 | 2,770 | 3.1 | 69.92 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年6月期2Q | 39,619,980株 | 2023年6月期 | 39,619,980株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年6月期2Q | 1,356株 | 2023年6月期 | 1,356株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年6月期2Q | 39,618,624株 | 2023年6月期2Q | 39,618,624株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み景気は持ち直しの動きがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の緊迫化、燃料・資源価格の高騰、欧米諸国の金融引き締め政策による円安の進行等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、円安の影響は原料等の仕入価格が変動するリスクがありますが、原薬販売事業では、必要に応じ為替予約を行うことや、海外サプライヤーへの価格交渉、得意先への為替連動型の価格設定への切替等を進めており、医薬品製造販売事業では、コスト削減や販売価格の見直しに加えて、量産体制を推進し生産量を増大させること等による生産効率の向上を図っております。また今年度の薬価制度の中で、急激な原材料費の高騰、安定供給問題に対応するため、企業から希望のあった品目で公定価格である薬価と実際に市場で取引された市場実勢価格との乖離率7.0%超を除く品目を対象に特例的に不採算品目再算定が適用となり、今年度の対象は前年度の約1,000品目から約2,000品目へより多くの品目が対象とされ、その対応を進めております。

医薬品業界におきましては、ジェネリック医薬品全体で供給不安が続いておりますが、当社グループでは製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検や、グループ各社間における無通告監査(抜き打ちの立入り監査)、製造業者への実地またはリモートでの監査を継続して製造管理や品質管理を強化しております。

厚生労働省の「後発医薬品の安定供給等の実現に向けた産業構造のあり方に関する検討会」では、品質が確保された後発品を安定供給できる企業を薬価制度上で評価することや、少量多品目構造の解消として新規収載品目を絞り込むことなどが提言されております。

当社グループの原薬販売事業では高品質かつコスト競争力の高い医薬品原薬を取り揃え安定供給を行っておりますが、さらなる取引拡大に対応するために大阪医薬分析センターの改修工事を進めております。医薬品製造販売事業では、中長期成長戦略として特長のある注射剤トップメーカーを目指し事業活動を推進しております。蔵王工場では市場で高評価を頂いている主要製品の増産対応を進めており、その一環として建設を進めております医薬品倉庫は2024年3月頃の稼働を予定しております。また、今後さらなる需要拡大に対応し、安定供給責任を果たすために蔵王工場の敷地内に第二工場を新設することを決定いたしました。第二工場は、1~2 mlプレフィルドシリンジ1,200万本/年の量産(大量生産)型高薬理無菌製剤工場となります。本建設により、上記の増産対応と合わせて、検討を進めている新規受託案件を獲得することで、医薬品製造販売事業のさらなる事業拡大を目指してまいります。

このような状況の下、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,382百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益2,393百万円(前年同期比10.8%増)、経常利益2,440百万円(前年同期比12.1%増)、法人税等の合計額876百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益1,563百万円(前年同期比12.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、その他の代謝性医薬品用原薬や感覚器官用原薬の販売が新規採用品目の伸長等により増加した一方で、循環器官用原薬や抗生物質製剤用原薬が得意先での在庫調整等により減少し、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,881百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は1,399百万円(前年同期比1.6%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高870百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造の主力製品のうち増産体制の構築を進めていた注射剤において、当該製品のジェネリック医薬品シェア伸長による数量増加等により堅調に推移したことや、同業他社の一部製品が販売中止になったことによる代替需要の発生等により既存製品が好調に推移したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,372百万円(前年同期比9.5%増)となりました。セグメント利益は円安や燃料価格高騰による原材料や水道光熱費等のコスト増加があったものの、売上高の増加に伴う利益の増加や、増産や収率向上による生産性の改善等で利益確保に努めたことにより、1,031百万円(前年同期比35.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は29,642百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,178百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権の増加555百万円、建設仮勘定の増加413百万円、現金及び預金の増加269百万円、受取手形及び売掛金の増加261百万円等があった一方で、その他流動資産の減少133百万円、仕掛品の減少108百万円等があったことによるものであります。

負債は7,656百万円となり、前連結会計年度末に比べ115百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債務の増加291百万円、支払手形及び買掛金の増加216百万円、未払法人税等の増加77百万円等があった一方で、未払金を始めとしたその他流動負債の減少318百万円、長期借入金の減少150百万円等があったことによるものであります。

純資産は21,985百万円となり、前連結会計年度末と比べ1,062百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,563百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少475百万円、繰延ヘッジ損益計上による減少40百万円があったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.7ポイント増加し、74.2%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ256百万円増加し、10,291百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は1,540百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,440百万円、仕入債務の増加額508百万円があった一方で、売上債権の増加額816百万円、法人税等の支払額795百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は644百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出628百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は639百万円となりました。これは主に、配当金の支払額475百万円、長期借入金の返済による支出150百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月期の連結業績予想につきましては、2023年8月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 10,767,016 | 11,036,296 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,910,453 | 4,171,983 |
| 電子記録債権 | 4,406,195 | 4,961,492 |
| 商品及び製品 | 1,415,639 | 1,409,802 |
| 仕掛品 | 563,125 | 454,165 |
| 原材料及び貯蔵品 | 483,358 | 642,781 |
| その他 | 284,469 | 151,038 |
| 流動資産合計 | 21,830,258 | 22,827,561 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 4,889,478 | 4,931,286 |
| 減価償却累計額 | △2,336,069 | △2,434,757 |
| 建物及び構築物 (純額) | 2,553,408 | 2,496,528 |
| 機械装置及び運搬具 | 3,798,624 | 3,817,029 |
| 減価償却累計額 | △2,267,079 | △2,465,315 |
| 機械装置及び運搬具 (純額) | 1,531,544 | 1,351,713 |
| 工具、器具及び備品 | 1,351,945 | 1,378,901 |
| 減価償却累計額 | △1,085,743 | △1,124,432 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 266,201 | 254,468 |
| 土地 | 1,761,774 | 1,761,774 |
| 建設仮勘定 | 163,026 | 576,885 |
| 有形固定資産合計 | 6,275,955 | 6,441,371 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 33,879 | 23,308 |
| 無形固定資産合計 | 33,879 | 23,308 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 56,775 | 81,946 |
| 繰延税金資産 | 222,079 | 231,191 |
| 退職給付に係る資産 | 29,891 | 21,538 |
| その他 | 15,652 | 15,675 |
| 投資その他の資産合計 | 324,399 | 350,352 |
| 固定資産合計 | 6,634,234 | 6,815,031 |
| 資産合計 | 28,464,493 | 29,642,592 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2023年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2023年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,504,004 | 1,720,406 |
| 電子記録債務 | 686,818 | 978,432 |
| 短期借入金 | 850,000 | 850,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 349,904 | 373,904 |
| 未払法人税等 | 810,011 | 887,768 |
| 賞与引当金 | 48,558 | 35,338 |
| その他 | 984,618 | 666,396 |
| 流動負債合計 | 5,233,914 | 5,512,247 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,941,288 | 1,766,336 |
| 繰延税金負債 | 1,460 | 4,112 |
| 役員退職慰労引当金 | 137,624 | 144,138 |
| 退職給付に係る負債 | 135,597 | 150,163 |
| その他 | 91,119 | 79,999 |
| 固定負債合計 | 2,307,090 | 2,144,749 |
| 負債合計 | 7,541,004 | 7,656,997 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 522,277 | 522,277 |
| 資本剰余金 | 205,828 | 205,828 |
| 利益剰余金 | 20,172,089 | 21,259,972 |
| 自己株式 | △407 | △407 |
| 株主資本合計 | 20,899,787 | 21,987,670 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,915 | 27,090 |
| 繰延ヘッジ損益 | 11,785 | △29,165 |
| その他の包括利益累計額合計 | 23,700 | △2,074 |
| 純資産合計 | 20,923,488 | 21,985,595 |
| 負債純資産合計 | 28,464,493 | 29,642,592 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 11,166,974 | 11,382,942 |
| 売上原価 | 7,973,282 | 7,924,332 |
| 売上総利益 | 3,193,692 | 3,458,609 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,033,450 | 1,065,308 |
| 営業利益 | 2,160,241 | 2,393,300 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,841 | 1,948 |
| 為替差益 | 3,644 | 12,844 |
| 受取手数料 | 9,331 | 3,942 |
| 受取補償金 | 7,004 | 640 |
| 受取保険金 | — | 26,533 |
| その他 | 2,820 | 4,269 |
| 営業外収益合計 | 24,641 | 50,177 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,949 | 3,359 |
| 投資有価証券評価損 | 3,071 | — |
| その他 | 996 | 9 |
| 営業外費用合計 | 8,017 | 3,368 |
| 経常利益 | 2,176,866 | 2,440,109 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,176,866 | 2,440,109 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 778,653 | 869,987 |
| 法人税等調整額 | 3,868 | 6,816 |
| 法人税等合計 | 782,522 | 876,803 |
| 四半期純利益 | 1,394,344 | 1,563,306 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,394,344 | 1,563,306 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,394,344 | 1,563,306 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 175 | 15,175 |
| 繰延ヘッジ損益 | △66,649 | △40,951 |
| その他の包括利益合計 | △66,473 | △25,775 |
| 四半期包括利益 | 1,327,870 | 1,537,530 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,327,870 | 1,537,530 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2023年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,176,866 | 2,440,109 |
| 減価償却費 | 339,027 | 350,895 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △12,929 | △13,219 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | 6,216 | 6,514 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | 7,227 | 8,353 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 5,493 | 14,566 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 3,071 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,841 | △1,948 |
| 支払利息 | 3,949 | 3,359 |
| 受取保険金 | — | △26,533 |
| 為替差損益 (△は益) | △416 | 609 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 437 | 0 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △1,411,175 | △816,827 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △394,553 | △48,493 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 720,564 | 508,016 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | △6,967 | 1,576 |
| その他 | △122,442 | △208,767 |
| 小計 | 1,312,525 | 2,218,212 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,115 | 1,780 |
| 利息の支払額 | △3,661 | △3,121 |
| 補助金の受取額 | 766 | 776 |
| 保険金の受取額 | — | 26,533 |
| 法人税等の支払額 | △795,361 | △795,596 |
| 法人税等の還付額 | — | 91,733 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 518,384 | 1,540,318 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 固定資産の取得による支出 | △104,085 | △628,193 |
| 定期預金の預入による支出 | △85,011 | △91,012 |
| 定期預金の払戻による収入 | 72,011 | 78,011 |
| その他 | △2,698 | △3,125 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △119,784 | △644,320 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △150,952 | △150,952 |
| 配当金の支払額 | △436,130 | △475,266 |
| その他 | △12,971 | △12,890 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △600,053 | △639,109 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 416 | △609 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △201,037 | 256,279 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,421,859 | 10,035,504 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 8,220,822 | 10,291,783 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------------|------------|--------------|----------------------------|
| | 原薬販売事業 | 医薬品製造販売 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 7,172,413 | 3,994,560 | 11,166,974 | — | 11,166,974 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 7,172,413 | 3,994,560 | 11,166,974 | — | 11,166,974 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 924,850 | — | 924,850 | △924,850 | — |
| 計 | 8,097,264 | 3,994,560 | 12,091,824 | △924,850 | 11,166,974 |
| セグメント利益 | 1,376,943 | 761,038 | 2,137,981 | 22,259 | 2,160,241 |

(注) 1. セグメント利益の調整額22,259千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|---------------|------------|--------------|----------------------------|
| | 原薬販売事業 | 医薬品製造販売 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 7,010,357 | 4,372,585 | 11,382,942 | — | 11,382,942 |
| その他の収益 | — | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 7,010,357 | 4,372,585 | 11,382,942 | — | 11,382,942 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 870,846 | — | 870,846 | △870,846 | — |
| 計 | 7,881,203 | 4,372,585 | 12,253,788 | △870,846 | 11,382,942 |
| セグメント利益 | 1,399,335 | 1,031,539 | 2,430,874 | △37,573 | 2,393,300 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△37,573千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。